

令和元年度 第3回西伊豆町立文教施設等整備委員会会議録

- 1 日 時 令和元年10月8日(火) 19:00~20:00
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館(安良里) 3階多目的ホール
- 3 出欠席 委 員:別紙のとおり
事務局:清野教育長、高木事務局長、朝倉通彰、石田智直、齋藤英知
齋藤良久
- 4 傍聴者 伊豆新聞

事務局長

皆さん、こんばんは。まだお一人いらっしゃっていませんが、定刻となりましたので、始めさせていただきますと思います。お疲れのところ夜間の会合にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。早速ではございますが、令和元年度第3回の西伊豆町立文教施設等整備委員会の開催をさせていただきますと思います。議事進行につきましては、委員長にお願いをしたいと思います。よろしく願いいたします。

委員長

こんばんは。第3回ということでお集りいただきまして大変ありがとうございます。それでは早速議題に移りたいと思います。議題の1番の西伊豆町小中一貫保護者説明会についてお願いします。

教育長

こんばんは。お疲れのところ本当にありがとうございます。議題 2(1)西伊豆町小中一貫校保護者説明会について説明をさせていただきます。9月10日の火曜日にこの会場で保護者説明会をおこないました。今日もお見えになっておりますけれども、伊豆新聞に掲載されましたので、大まかな課題についてはすでに皆さんご存知かと思っておりますので、私のほうから簡単にその流れの説明をさせていただきます。初めに私から挨拶と簡単な説明をさせてもらいました。その抜粋につきましては、これから町内の回覧で回りますので大勢の方がご覧になっていただけるかと思っております。色々な事情の中で15日に回覧を回すということになります。その回覧に回す原稿が手元にありますけれども、それを読んでいると大変長くなりますので、また皆さんについてはすでに承知のことだと思っておりますので、ここでの説明は省略させていただきます。挨拶と説明に続いて、専門員の齋藤良久先生からパワーポイントを使った説明をおこないました。それについては、本日の資料の中にとじられて皆さんのお手元にすでに届いているかと思っておりますので、こちらにつきましても省略をさせていただきます。必要あればまた時間をとって説明をさせていただきますけれども、それは必要があれば後で声をかけていただければと思います。それに続く質疑応答、これも本日の資料の中に含まれていますので、ご覧になっているかと思

ます。様々な質問が出て参りました。それについて、回答したものについてもしっかりと議事録をおこして、そこに示してある通りとなりますので、ご覧になっていただきたいと思ひます。私からは本日の議題の(2)、4・3・2について、説明をさせていただきます。これについては、私が個人的に捉えた印象でありますけれども、特に強い賛成も無ければ逆に強い反対も無くて、説明責任はこれで果たしたかと感じました。この説明会へと出ていた方がこの中にも何人かいらっしゃいますので、その時の印象をお話しいただければと思ひます。如何でしょうか。手が上がらないようですので堤委員、如何でしょう。突然ですが、その時の印象を聞かせていただければと思ひます。

堤委員(仁科認定こども園PTA会長)

保護者説明会の時の印象は思っていたより確かに大きな反対が無かったので、それに関しては良かったかと思ひますが、あとはその4・3・2というのは弱く、でも一部外から話を聞くと、それはどういう意味かとか話が分かってない人もいるので、そういう人たちをどう上手く納得させるかというところ。僕は最初聞いた時には、もう正直無理と思ったのですが、前回の保護者説明会へ行かせてもらってお話を聞かせてもらった時はそういう事なんだと納得できたのでそれが全体に広まれば、いいのではないかと思ひますけど。制服の事はまだちょっとお話があります。

教育長

ありがとうございます。校長先生の中で高橋美智子先生、お願いします。

高橋委員(仁科小学校長)

はい。大変分かりやすいプレゼンテーションで4・3・2についてお話していただいた事で、来ていた方についてはそれなりに感じました。保護者の関心事はやっぱり卒業式があるかとか、その辺りとかまたは制服がどうなるかというような事で話題がたくさんありましたけど、システムについては大きな疑問もなく、ある程度納得していただけたのではないかと感じました。以上です。

教育長

ありがとうございます。その他、出席されていた方の中で如何でしょう。特に無ければ、急に指名させていただきましたけれども、そのようなお話でだいたい見方としては一致してるかと思ひました。ただ、その場での説明会へと参加していない方については説明資料と質疑応答の議事録を配ってくれというようなお話もありましたので、そのように対処させていただきました。以上(1)についての説明です。

委員長

参加している人はだいたいここに来ていたので分かってるのではないかと思ひます。参加しなかった方々につきましては、何かありますか。

副委員長

何人ぐらいの方が参加しましたか。

教育長

参加者は80人です。

副委員長

全体の何%ぐらいですか。

教育長

保護者全体からすると3分の1ぐらいの参加だという事です。これが少ないか多いのかというのはそれぞれかと思えます。

委員長

無いようでしたら、また再度全体的なところに質問をおきますから、次に行きましようか。それでは各部の制服についてのアンケート調査についてお願いします。

齋藤専門員

はい、よろしくをお願いします。専門員の齋藤です。(2)について説明させていただきます。前回の会議でアンケートを実施して、そして保護者説明会でこのような意向でというような事を説明していただいて、具体的というところで9月28日に小中一貫校施設準備委員会の方で、内容を検討していただいたものを精査して保護者の方に10月1日から配布して、調査をしている段階です。調査は2種類ありまして、保護者用のアンケートは両面で少し詳しく書かせていただきました。その内容は業者との打合せ等の資料にも使えるかという意味合いにも含めております。子ども達に関しては、あまり設問が多くても大変ですので、新しい学校で制服を作った方がいいかという事と、それを着たいかという事と、それから学校の体育で何色がいいかというような、ざっくりとした質問にさせていただきました。各校に取り組んでいただいて、子ども達に関しては学校で集計をお願いしております。保護者の方はそのまま会議にあたっておりますので、事務局で集計をします。園児に関しては園児には回答は無理だと思うので、保護者の方に意向という形で0歳児から5歳児までを対象にしています。児童は5年生からが対象になりますので1年生から5年生までをやっています。それから認定こども園に通っていないお子様もいらっしゃいます。実在的に27人いますけれども、その方々にも郵送で送らせていただいて、支援センターやこちらへ直接届けてくださいとそういう対応でさせていただきました。まだ詳しいことは分かっていませんけれども、これに基づいてある程度形が決まったら、見本等をお届けしながら、落とし込んでいくというような形になっていくと思います。制服関係については以上です。

委員長

制服というのは、1年生から制服になるという事でもないのでしょうか。

齋藤専門員

そのことも含めて、3タイプ提案させていただきました。今、言ったように1年生からやるという事もありますし、こちらは一応4・3・2の3の始まり、いわゆる小学校5年生から制服を着たらいいのではないかという提案と今まで通り中1からいわゆる

7年生から制服を着たらいいんじゃないでしょうかというような3パターンを聞いております。説明会での印象では、中学校になったらというようなところで、5年生では経済的な負担も大きいのではないかという意見も多かったので、アンケートの結果がどういようになるか分かりませんがそのような印象を持ちました。

委員長

その他、ございますか。

堤委員(仁科認定こども園PTA会長)

そこは結局、アンケート待ちという事ですね。

齋藤専門員

そうです。お金もかかることですし、保護者用の方には金額も載せておきました。これは業者にお聞きした金額ですので、確かな金額だと思いますけれども、これが経済的な負担になるので、ぜひこの学年からやっってくださいというような事は保護者ファーストで決めていけたらと思っています。

委員長

それでは、次の項目の3番目の再編計画の進捗状況についてお願いします。

事務局長

それでは、(3)の再編計画の進捗状況についてご説明をさせていただきます。資料の方がA3の横版になります。令和元年度西伊豆町学校等再編協議検討状況をご覧いただきたいと思います。前回本委員会で説明した続きになりますが、左の方の列から順次説明をさせていただきたいと思います。まず、教育委員会関係になりますが、こちらにつきましては7月1日に再編だより第2号を発行しております。少し飛ばしまして、9月9日には制服の業者との打合せを行いました。9月10日には先ほどから話が出ております保護者説明会を開催いたしまして、学年区分、制服等について説明をさせていただき、保護者の方80名が参加をしております。9月19日には東海バスとの協議という事でこちらは中学校統合に向けての通学バスの協議を行っております。10月1日になりますが、制服等アンケートを各園、学校へと配布をいたしております。そして本日が第3回目の文教施設等整備委員会となっております。次、右隣になりますが、小中一貫校の再編準備委員会になります。7月18日に第3回の小中一貫校統合準備委員会、9月24日に第4回の委員会を開催しております。開催内容につきましては、記載のとおりでございます。次にその隣の中学校再編準備委員会関係になります。こちらは数多く協議を行っておりまして、中学校統合準備委員会、部会、そして準備委員会支部連絡会ごとそれぞれ開催をしているところがございます。次、隣の園舎準備委員会関係になりますが、9月19日に施設整備係のところを書いてありますが、新園舎のレイアウトについて協議を行っております。最後に施設整備係になります。7月8日に土砂災害区域に対する事前協議等を行っております。7月22日には静岡コンサルタントとの協議を行っておりまして、新校舎の配置計画、それから行政土地計画についての協議等を行っております。8月

29日に南伊豆東中学校の体育館の視察に行っております。翌30日には栗原神社の交渉、そして9月8日については工事用の道路用地交渉を行ったところでございます。9月19日は先ほど施設準備委員会で申し上げた通り、協議を行ったところでございます。9月27日金曜日につきましては給食施設の再編協議を栄養士と事務局で行っております。簡単ですが説明とさせていただきます。

委員長

再編議案について説明がりましたが、ご質問はありますか。

事務局長

すみません。本日お配りしました資料につきまして齋藤専門員の方から追加で説明をさせていただきたいと思っております。

齋藤専門員

失礼します。私の方で3列目の中学校再編準備委員会の関係で進捗状況をもう少し細かく説明させていただきたいと思っております。2年後に迫った中学校再編ですので少しずつ進んでいますが、そこに協議項目の進捗状況をお伝えしてあります。これは4月の段階で賀茂中学校の佐藤校長先生の方からとなっておりますけれども、佐藤校長の方で学校で協議していくもの、それから町・教育委員会が主体になって話し合っていくというような事の分類をした中の町・教育委員会で主体的にというような事の回答について、ちょっと進捗状況を説明させていただきます。校名についてはアンケートを取りましたので、西伊豆中学校の方でほぼ決まりかと思っております。校章の方ですが現在、西伊豆中学校のものを使用と書きましたが、再度確認しまして、まだこの辺は未定だという事なので、使用ではなく、未定というように書き直していただけたらと思っております。校歌は準備委員会の段階では3年間校歌は使用しないで愛唱歌を掲げて行事は対応し、小中一貫校で新たな学校になったというスタンスで新校歌をその時に作成してはどうだろうかというような意向を持っています。そして、作詞作曲は西伊豆町に由来のある方に作成してもらって、体育館等に展示するものが文化協会等に作っていただいたらどうかなど腹案を持っていますが、これもまだもう少し検討していますので、現在のところこの辺で話し合いが止まっているとご理解していただけたらと思っております。校旗の方は西伊豆中学校ということですので西伊豆中学校のものを使用。校名のプレートですが、これも西伊豆中学校と兼用して活用と記載してありますが、賀茂中学校の方は賀茂中学校のプレートは外さないでほしいという意向もあるようです。ですので、この辺はもう少し煮詰めて行きたいなと思っています。イメージカラーや制服についてはアンケートで集約中です。広報活動ですが、再編だより3号という事で10月15日過ぎに1回会合があると思っておりますので、3号まで発行させていただきます。それから、給食の関係ですが賀茂中学校の1階にランチルームというのがあります。給食室のすぐ隣にありますけれども、200人ぐらい入れる教室になりますが、そこを使って新しい中学生が食事をしていこうというように計画を立てております。それに備えて、その教

室の物品とか給食費をいくらにしようとか、南部給食センターの調理場の活用方法や調理用具の移動やいらぬ物、それから栄養士の職場管理の人事等については現在調整中で話し合っています。それから町との職員との連絡が必要になって、これをおこなっています。主に施設整備係の方が窓口でおこなっています。それから、学校医等ですけれども、これは養護教諭の方でどのようにしていくかという事を話し合ってもらっています。それから備品の移動等がありますけれども、これは今、西伊豆中学校の方で引っ越しのリストを作っています。要るもの、廃棄するもの、それからまた5年後に使うものとか多岐にわたって分類しています。そこも一覧表ができた段階で来年度の予算に組み入れていこうと思って取り組んでいます。それから机や椅子やICT関係もこれも賀茂中学校で使える備品等も確認をしながら、西伊豆中学校でどういう物を持っていくかというようなところも今、検討して学校で進めています。それから学校図書ですけれども、両方の図書館に満杯分の本があります。ただ、かなり古い本もありますので各学校で廃棄をして、そして使えるものを集めて、新しい中学に揃った本で図書台帳を作っていこうというように決めて、それに向かって、廃棄選定の方の作業に入らせていただいています。それから学校施設の方で主に受け入れ側ですが、賀茂中学校の方のグラウンドにテニスコートが2面しかありません。そのテニスコートを4面にしたり、グラウンド整備をしたりしながら色々な体育倉庫での器具とか整備とかありますので、この辺も賀茂中学校の方にリストアップしていただいて、その辺の工事等の予算もこれも随時組み入れていくというところを、作業を進めております。それから9月19日東海バスと協議をしましたが、路線バスで児童生徒の送迎をおこなわなければいけません、大きく分けて大沢里線、仁科線の場合は一色への仁科線、それから現在の定期路線を利用した東海バスの3路線を使ったバスでどうにかならないかなという事で東海バスに投げかけをしています。10月末に回答があるという事ですので、またそのことについては次回の協議で報告できるのではないかと考えています。これらの事が中学校の準備委員会の方で話し合っている経緯です。よろしく願いいたします。

委員長

それでは質問はありますか。私の方から質問を 2、3 いいですか。東海バスとの協議の中で宇久須から仁科へ向かってく路線については既存の路線を使っていくとこういう事ですか。

齋藤専門員

基本は今の松崎から宇久須まで行く路線の定期バスが1本あります。田子の町内を通過して安良里の方を通過するというバスが1本あります。それが1本は使えるかと、大沢里から行くバスをこちらの要望としては学生と定期バスにして、それを神田行きにして、バイパス経由神田行きにして大沢里の方から回って行って神田までというところで各中学校前で降りるとするのはどうだろうというのと、それからバス停全部、乗車の人員を調べました1番端は下築地になりますので、仁科車庫から発車

するとちょっと乗れなくなりますので松崎から発車していただいて、今度はそのバスはバイパスを通過して、田子、安良里は通らないでそのままバイパスを経由しながら定期バスの行的に行って、神田行きにさせていただければ、神田行きが朝2本になりますけれども、そういうようなのはいかがかなというところで東海バスには投げかけています。もう1個は、田子地区の子ども達、それから今の賀茂中学校の安良里の子たちは、その定期の松崎の今走っているバスで通学できるのかと考えています。

委員長

それからもう1つ、新しい校舎の関係の話なのですが、新しい校舎の図面的なものではもうできているのですか。

事務局長

レイアウト等につきましては、現在検討中でございます。どの程度の規模にするかということも、学校の意見も聞きながらまとめているところでございます。校舎の規模もそうですが、園舎園庭の大きさ、また園舎を2階建てにするかなども併せて詰めているところでございます。

委員長

なぜその質問をしたかという、先だって防災会議をやっていました。その防災会議の中で、避難場所としての拠点として考えているというような事がありました。なぜかその事で要望があるかっていうのを取っております。保護者会議の中で、色々こういう設備にしてくれていうのは上手く出てきますので、そういったところはどうか。今、話を聞きますとそういった要望済みなのとかなんとかというのはまだ、大丈夫かまだ固定されたものではない。

教育長

今後、校舎を建設する際に防災関係の機能を備えた校舎であるという条件をもとにお金がつけられるという事がありますので、何かしらの防災機能は揃えることが必要になってくると考えてます。図面については、たたき台です。それが一度示されていますけど、しかしまだまだそういった防災事業も含めて使い方等検討していく中で、これからいくらでも変わっていくものだととらえています。

委員長

はい、わかりました。その他、ありませんか。

堤委員(仁科認定こども園PTA会長)

少し、教えてください。この1番下の通学バス料金補助などが、料金補助は現在はどうのように考えてますか。

事務局長

現在の中学生の通学につきましては、町が全額補助しておりますので同じような形で考えております。

堤委員(仁科認定こども園PTA会長)

人が増えるけども、それも全額補助の予定でいますか。中学生ということは西伊豆中学校に田子の人だけの分なので全額で出来ているのかも知れませんが、人数が圧倒的に増えるので、それでも一応全額受ける予定ではいられますでしょうか。

事務局長

統合することによって経済的負担が増えることがないようにってということで、全額補助で現在のところは考えています。

委員長

通学で補助を出しているのは、高校の補助を出してますか。

事務局長

高校につきましても、松崎高校存続のための補助という事で一部通学金の助成はしております。

委員長

下田の方はまだ出てないのですか。

事務局長

下田高校もそうですが、自宅から通学している子たちに対して補助しております。ただ、松崎高校の存続という観点もありますので松崎高校の方が補助率は高くなっております。

委員長

その他、ありませんか。

堤委員(仁科認定こども園PTA会長)

話がそれてしまうかもしれませんが、給食の事で新しく作る給食センターは、自分の子がそうだからという訳ではないのですが、アレルギー持ちの子がこれから出てくるかと思うのですが、その子たちの対応というのは、新しくせつかく作るにあたって設備とか、施設をどのように作るか教えてください。今は毎月栄養士に相談して、メニューを見てこれはダメだから家から持て来てというやり方をしてるのですが、聞いたところによると給食センターか町かどこかでやっているところだと、全部もう除去して作ってくれるのだったところもあるので、新しく作るにあたって、その辺はどのように考えているのかなと思いました。

委員長

はい、お願いします。

事務局長

アレルギー対応食につきましては、おっしゃったような代替食、それから除去食がありますが、当町では施設の関係があって除去食のみの対応となっております。代替食を作るってなると、それなりの施設を整備しなければなりません。先ほど申し上げたとおり、施設の規模としてどこまで対応ができるかを含めて、現在検討をしているところでございます。

委員長

はい、その他ありませんか。保護者のみなさん、何かありませんか。無いようでしたら、その他で何かありますか。

事務局長

その他という事では次回の委員会の方の日程なのですが、12月9日、10日、11日、12日あたりを考えておりますが、ご都合はどうでしょうか。

佐藤校長

9日、10日は都合が悪い。

事務局長

それでは11日か12日で調整をさせていただきたいと思います。また事前に皆様の方にはご連絡を入れさせていただいて、決定をさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

副委員長

本日はお忙しいところ、色々ご意見ありがとうございました。学校再編も色々ありますけれども、また皆様のご意見を伺いながら一步一步進めていきたいと思えます。よろしくをお願いします。

以上